

しあわせ

HAPPY NETWORK

No.26

平成30年3月発行

発行
守山市民生委員児童委員協議会

編集：広報研修委員会

事務局：守山市社会福祉協議会

住所：守山市下之郷三丁目2番5号

民生委員制度創設100周年記念事業を終えて

～ 創設時の理念と熱意を継承し、不易流行の活動を目指す ～

守山市民生委員児童委員協議会 副会長 淵上清二

昨年は民生委員制度の前身である濟世顧問制度が岡山で産声をあげてより百年目に当たり、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り開催された全国大会(会場・東京ビッグサイトほか)を皮切りに、県民児協連(栗東さきら)、守山市民児協(守山市民ホール)でも、100周年記念事業を開催しました。私ども民生委員・児童委員にとって、この百年の歴史は歴代委員一人ひとりが地域社会の福祉増進の担い手の一翼として地道な活動を積み重ねてきた日々でもあり、誇りとするところでもあります。

近年、地域福祉を取り巻く問題は、他分野多岐に亘り、かつ複雑化し、民生委員・児童委員に対する社会の期待感は一段と高まっています。半面、委員自身は、赤ちゃん訪問に始まるゆり籠から墓場まで、年々拡大する活動領域の負担感増に伴うなり手不足に高齢化、また自ら親族の介護問題を抱えている者、ひとり暮らしや老々介護世帯でありながら、同じ境遇の方を見守るという老々見守り、現役の委員にあっては活動と仕事との調整が難しく、時には家庭や職場生活に優先した活動を強られるなど、ジレンマを感じる日々もあり、制度疲労も見られるなど、様々な課題を抱えていることも事実であります。



民生委員制度創設100周年記念市民公開講座
70周年記念タイムカプセル開封セレモニー

時あたかも日本社会は、平成の時代に幕を引き、新時代に向けて歩み始めています。私ども委員は、これ



▲タイムカプセルを開封する70周年当時の民生委員さん

まで歩んできた百年の歴史の重みをしっかりと受け止め、創設時の理念と熱意を継承しながら、向こう百年後の地域福祉と民生委員・児童委員のあるべき姿を見極めて、新たな一步を踏み出すことが求められています。

そのためには、委員一人ひとりが単なる地域の便利屋的存在に陥らず、自らの品格(仁、義、礼、智、信の五常)と向上心の陶冶に一層努めると共に、常に不易なる活動(時代が変わっても守り続けるべき活動)と流行なる活動(時代の変化と共に見直すべき活動)、集中と選択すべき活動を問いかけて活動していくことが肝要と考えます。

長浜の慶雲館では、春の到来を告げる風物詩「盆梅展」が開催され、樹齢百年はおろか四百年の古木が「梅一輪一輪ほどの暖かさ」(服部嵐雪)を訪れる人々に体感させてくれています。財あるものは財、財なき者は智恵と経験、智恵等のなき者は力、力なき者は優しい言葉、言葉なき者は微笑と祈り等々、委員を含む市民すべての人々がその持ち前を存分に発揮し、「誰もが笑顔で安全に安心して暮らせる」、そんな温かい社会の実現を目指しましょう。

民生委員・児童委員

守山学区



「あいさつをしたら心がポッカポカ」の精神で挨拶運動を行います。

吉身学区



赤ちゃんから高齢者までの見守り吉身学区の29名が力を合わせます。

河西学区



住民の声に寄り添い心と心が通うホットな&ほっ!とする活動です。

速野学区



民児協活動を広く学区民に知ってもらうため4年前からパネルを作成しています。

「啓発活動パネル」

小津学区



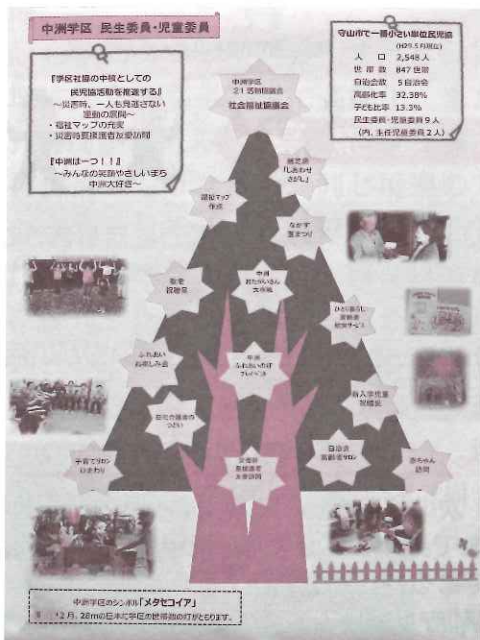
虹色に輝く小津をめざし
認め合い 高めあい 支えあって地域活動を進めます。

玉津学区



絆でつどう玉津の「わ」のもとに
赤ちゃんから高齢者の見守り活動しています。

中洲学区



学区社協の中核としての
民児協活動を推進するを目標に活動しています。

主任児童委員会



子どものことに関するサポートや
ご相談を中心に活動しています。

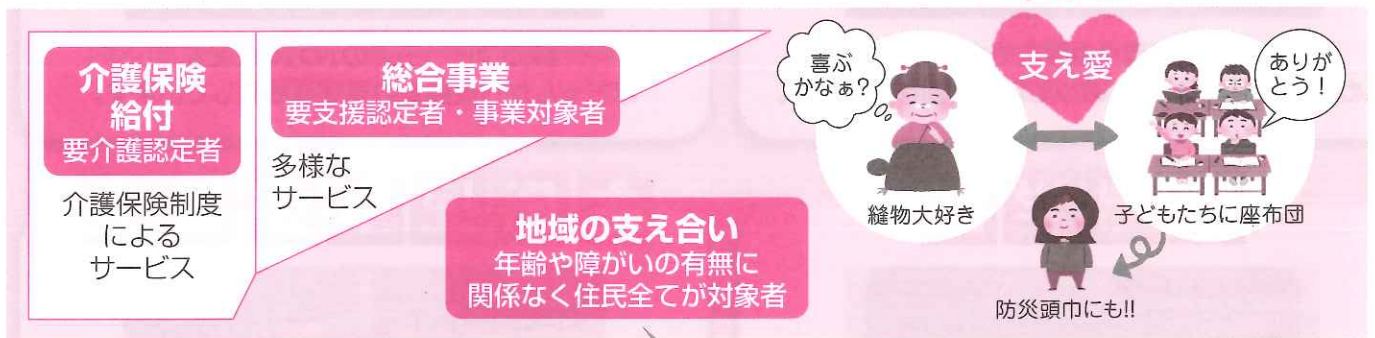
総合事業って??

介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」といいます。)は、高齢社会が進む中、事業者等が行う介護予防・生活援助サービスと地域における支え合いを組み合わせることで、「こころ からだ 元気」に住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目的とした事業です。

要支援相当者への通所型サービスと訪問型サービスを、事業者等が本市独自の多様なサービスを提供しています。

	サービスの名前	内 容
訪問型サービス	介護予防訪問型サービス	ホームヘルパー等の専門職による、身体介護(食事や入浴介助等)や生活援助(買い物、掃除等)を行います。
	生活援助サービス	生活支援サポーター(講座修了者)等による生活援助(買い物や掃除等)を行います。
通所型サービス	介護予防通所型サービス	入浴や食事の介助を受けつつ、体操やレクリエーション等を行います。
	リハビリデイ	機能訓練を中心とした運動等を行います。
	ゆったりデイ	体操やレクリエーション等を行います。

総合事業の全体図



← 元 気 度 低

元 気 度 高 →



各学区に設置されている「協議体(話し合いの場)」で、「支え合い」のまちづくりを話し合っています。

◎支え合いとは

地域に住む「一人ひとりの心配事や困り事」を自分のことと捉え、今ある活動(いきがい活動、自分の好きなこと)と結び合わせて解決をしていくことです。

編集後記

昨年は民生委員制度創設100周年という節目の年でした。新しい年の始まりとして1月16日には「こんにちは！三日月です」が、守山市の大曲自治会館に於いて、知事をはじめ県民児協連会長ならびに市民児協会長などが集い「制度創設100周年を迎えて」の意見交換がおこな

われました。次の節目に向けて民生委員・児童委員としては、これまで果たしてきた役割の再確認をして、今日的テーマである「社会的孤立」と「地域づくりの推進」。また、委員が「守り続けていくべきもの」と「時代の変化に応じた対応」の両面が必要であると考えられます。そして、民生委員が組織としては個々の民生委員を支え、その中で住民を支えていくことが大切です。

(伊藤 優 記)